



院長 清野 精彦先生

がん診療連携拠点病院
日本医科大学千葉北総病院から

安全着実で質の高いがん診療①

日本医科大学千葉北総病院は、国指定の「がん診療連携拠点病院」となり、質の高いがん医療を提供しています。今月から3回にわたり(15日号)、がんに関する最新情報をご紹介します。

高齢化とともに増加を示している「がん」は、今までは不治の病と恐れられていましたが、近年では新しい抗がん剤や医療技術が開発され、「生存率」や「生活の質」が大きく改善されています。それでも、我が国の「がん」による死亡者数は「心臓病」や「脳卒中」をしのぎ、死亡原因の第一位になっており、三人に一人は「がん」で亡くなっている現状から、決してまれな病気ではありません。がんによる死因のトップは、男性は「肺がん」、女性は「大腸がん」と「肺がん」であり、男性の「前立腺がん」、女性の「乳がん」についても早期診断と治療への関心が高まっています。

わたくし達「日本医科大学千葉北総病院」は、昨年4月厚生労働省の厳正な審査のもと、印旛保健医療圏「がん診療連携拠点病院」に指定されました。がんの治療は、「外科手術療法」「放射線療法」「抗がん剤療法」が主な治療の方法となりますが、さらに、「がん」と診断された時から始まる「緩和医療(ケア)」による「生

活の質」の改善が重要です。

当院では、呼吸器内科・外科「肺がん」、消化器内科・外科「食道がん」「胃がん」「大腸がん」「肝臓がん」「すい臓がん」、乳腺科「乳がん」、泌尿器科「前立腺がん」「膀胱がん」、女性診療科「子宮がん」「卵巣がん」、血液内科「白血病」「悪性リンパ腫」、緩和ケア科ほか、がん関連全診療科が「安全着実で質の高いがん診療」に取り組んでおります。

昨年9月に公開された「がん診療連携拠点病院登録による5年相対生存率初集計報告」について概説させていただきます。2007年に全国177がん診療連携拠点病院から登録された17万症例について集計した結果、わが国の全ての「がん」の5年相対生存率は64.3%、部位別では、「胃がん」71.2%、「大腸がん」72.1%、「肝臓がん」35.9%、「肺がん」39.4%、「乳がん」92.2%でした。今年度からは厚生労働省が「全国がん登録」を開始したことにより、わが国のがん診療について、がんの種類、進行度、治療

内容、地域格差、施設格差などについても報告されていく予定です。

「がん」は「早期発見」と適切な「治療判断」、「安全着実で質の高い治療」が重要です。早期発見のために知っておくべき知識(例:「肺がん」におけるせきや痰、「大腸がん」における便通異常、血便、「乳がん」における乳房のしこりなど)、定期的な健康診断受診などが大事ですが、多くの場合自覚症状に乏しく発見しにくい、がんによっては「進行が早い」などの問題がありますので、常日頃の「かかりつけ医」との相談が重要です。次回以降、この広報紙で順次紹介させていただき、さらに「がん市民公開講座」を開催してがん診療に関する最新情報をお届けする予定です。

市民のみならずと一緒に、印旛保健医療圏の「がんの予防と早期発見」、「安全着実で質の高い治療」、「生命予後と生活の質の改善」に向けて取り組んでまいります。

ごみの分別大事典シリーズ H28 - ②

スプレー缶やカセットボンベ式ガスボンベの出し方が変わっています

使い切った(中身を出し切った)、整髪料・殺虫剤・ペンキなどのスプレー缶やカセットコンロ用ガスボンベの出し方が今年4月1日から変わりました。

今年度からは、穴をあけずに「透明な袋」に入れて口をしぼり、「資源物」の日に出していただくようになりました。

【注意点】

- 「透明な袋」とは、市販の透明袋など、ご自宅にある不要な袋で、中身がよく確認できれば文字が記載されてあっても結構です。ただし、「燃やさないごみ用」の指定袋は使用できません。
 - 「透明な袋」には、複数本入れて結構ですが、他のごみは混ぜないでください。
 - 中身が残ったまま出すと、ごみの処理過程での事故原因になります。必ず使い切ってください。なお、ガス抜き作業は、火の気のない風通しのよい屋外で行ってください。
 - どうしても缶をカウにすることができない場合は、販売店やメーカーにご相談ください。
 - 穴あけしたものがある場合の出し方も同様です。
- ☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 382)。

リサイクル情報広場

掲載情報は平成28年6月30日現在
☎クリーン推進課クリーン推進班(☎内線 383)

◆ゆづりませ情報

- ①五月人形②ダイハツミラ純正スタッドレスタイヤ③セミダブルベッド④しおん幼稚園制服

◆さがしています情報

- ①補聴器②鋳物製の羽釜③スピードラーニング初級 16巻テキスト付④布佐台幼稚園男子夏制服⑤きかり幼稚園女子制服体操服一式⑥ベビーカー

※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。
お買い物にはマイバッグを持参しましょう。



マダガスカルをコメで元気に

JICA ボランティア 鶴澤氏

「困っている人の役に立ちたい。それを実現するときは、今しかないと思いました」と話してくれた鶴澤光佑氏(高花)。この度、開発途上国を支援するJICAにボランティアとして参加します。

鶴澤氏が2年間派遣されるマダガスカルは、コメが主食で、1人あたり年間に日本人の約2倍を消費しているといわれています。中でも派遣先の県は、国内屈指の稲作地帯。ところが標高差の激しい土地柄、さまざまな自然環境に適したコメを生産するには一定の技術や知識が必要で、生活が苦しい人も多くいるとのこと。

地域の人たちと生活を共にして問題点を見つけ、解決したい。コメの生産性を高めて地域の人たちの収入を増やし、生活を豊かにしたい。強い思いを胸に、鶴澤氏は今月、印西を立ちます。



笑顔で思いを語る鶴澤氏

文芸コーナー

短歌

加藤恵美子選

掘りたての土の香のする筍を左右に持ちて重さ確かむ
大森 三ツ木 絹江
弟の学びし高校移転して跡地にわが市の資料館建つ
木下 服部 富枝
朝日照る植田の畦を回りをれば一羽む白鷺の見ゆ
大森 羽方 政子
道ゆけば垣にあふるる紫陽花の雨後の溜に咲く花うつつ
竜腹寺 五十嵐 次男
時をへて静かに建てる光堂背に学生らの声近づきぬ
小林大門下 長谷川信子
俳句
長屋門庭に万緑大樹かな
小倉台 田中 孝二郎
来客の燕子連れの三世帯
小倉台 丹保 吉次郎
五月田の背伸びし苗に風光る
小倉台 山田 明
新緑の中を押されて車椅子
原 山 堀口 和敏
夏柳街はゆっくりり夜の顔
木刈 渡辺 敏子

<短歌・俳句をお寄せください>

一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、広報広聴課広報広聴班まで。